議　　題

交通・防犯関係部課長会議

議題１　高齢者に対する安全運転支援装置設置促進事業について（豊橋市提出）

【要旨】

令和２年度より県から市町村へ高齢者安全運転支援装置設置促進事業費補助金（間接補助）が開始されました。

本市では、令和元年度より同事業を単費で実施していますが、新型コロナウイルス感染症の影響もあったことから、安全運転支援装置の設置台数が伸び悩んでいます。

そこで、設置台数を増やすために、高齢者やそのご家族への効果的な周知方法や、自動車販売店等への説明や協力体制について、事例等を踏まえ取組（検討中のものも含む）についてご教示ください。

また、国のサポカー補助金の併用や県の補助金が今後実施されなくなった場合、市単費で本事業を継続するかどうかの方向性とその理由もご教示ください。

（豊橋市補助実績：令和元年度が 79 台、令和 2 年度 187 台）

議題２　高校生の自転車用ヘルメット着用率促進について（豊橋市提出）

【要旨】

今年度より愛知県全体で自転車ヘルメット購入補助金制度が開始したところですが、高校生の補助申請率が伸び悩んでいます。昨年度の本市の補助実績は、全体で 1557 件だったのに対し、高校生の補助実績は 12 件でした。

その対策として本市では、昨年度、高校生によるヘルメット着用モニターを募集し、実際にヘルメットを被って通学したうえで、どうしたら高校生がヘルメットを被るようになるのかを意見交換する全体会議を開催しましたが、未だに着用率は停滞しています。

そこで、各市の高校生のヘルメット着用に関する考えと着用率促進のための具体的な取組みがあればご教示ください。

（豊橋市では、令和元年度よりすべての市内在住の方を対象に自転車用ヘルメットの購入費用の補助を行っています。）

議題３　自主防犯団体活動の参加者の確保と協力体制について（豊橋市提出）

【要旨】

地域の犯罪抑止や防犯意識の向上のために、行政のみならず自主防犯団体の協力が必要不可欠な状況にあるものの、自主防犯活動参加者の減少や団体構成員の高齢化などが懸念されています。

今後少子高齢化が深刻化する状況を踏まえ、若い世代が自主防犯団体活動に参加しやすい仕組みづくり（スマホアプリ・SNS などの活用）や、気軽に行える防犯活動などの具体的な施策があれば、ご教示ください。

また、自主防犯団体が地域のパトロールなどを行う際に、不審者情報や犯罪発生情報を共有したり、活動に関して助言等を行っているのであれば、どのように助言を行い連絡をとっているか、ご教示ください。

（豊橋市では「防犯に関する市民意識調査」を 3 年ごとに実施しています。平成 31 年調査では、自主防犯団体活動に「現在参加していない」と回答した方が 90.9％でした。）

議題４　地域が設置した防犯カメラの維持管理補助について（尾張旭市提出）

【要旨】

安全なまちづくりのため、防犯カメラを設置することは有効な手段ですが地域の自治会や自主防犯団体等が設置した防犯カメラについて、本市では、設置費は補助しています（半額、上限 1 台 15 万円）が、維持管理にかかる費用については補助を行っていないため、支援して欲しいとの声があります。

各市で各々事業方針が異なると思いますので、地域が設置した防犯カメラについて、どのような支援をしてみえるか、お伺いします。

議題５　コロナ禍においての交通防犯啓発活動の実施及び各協力団体の参加の状況について（尾張旭市提出）

【要旨】

現在、新型コロナウイルス感染防止のため、様々なイベントが中止や縮小を余儀なくされています。

昨年度の実施につきまして、本市では不特定多数の接触を避けるため、街頭でのチラシや啓発品の直接配布を行わないように展示や配布を代替的に実施したり、交通防犯教室は少人数で回数を増やして実施したり、開催方法を模索しながら啓発活動を行いました。

この状況下で、交通防犯啓発活動を安全で安心に実施するため、各市でどのような工夫や方針を取られてみえるか、お伺いいたします。

また、コロナ禍における啓発活動にご参加いただく各種団体の参加状況をお伺いいたします。（例：参加の拒否、団体主導での啓発活動の中止等）